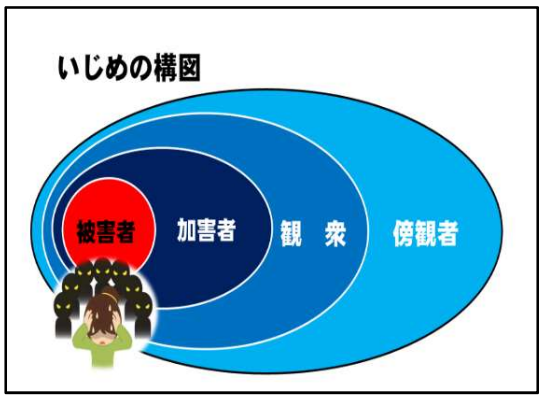
白南中だより

教育目標　創造　挑戦
育てる力　主体性
たくましさ
心の回復力
令和５年７月 11 日（火）
新潟市立白南中学校 発行

いじめ防止対策推進法から 10 年

校長　和泉　哲章

2011 年に滋賀県・大津市で起きた中学２年生にいじめ自殺事件をきっかけに、2013 年に「いじめ防止対策推進法」ができました。あれから１０年が経ちましたが、いじめがなくなったと言える状態にはありません。法律まで作っていじめをなくそうとしているのになぜなくならないのか。先日の全校朝会で生徒に聞いてみました。「いじめを見て見ぬふりをしている傍観者がいるから」「そもそも、いじめをする人がいるから」という答えが返ってきました。改めてこの機会にいじめについて考えてみたいと思います。



文部科学省は、いじめの構図について、被害者、加害者、観衆、傍観者の４層構造を示しています。そして、加害者だけでなく、いじめを積極的に認めて、その様子を見ることを楽しみにしている「観衆」、いじめを知りながら、見て見ぬふりをすることで、いじめを認め、促進する役割を果たしている「傍観者」も加害者であると明確に示し、これが一般的な考え方です。いじめは、そのときだけでなく、長い間、心の傷になったり、深刻な場合には命にかかわる重大事案になったりすることがあります。

いじめは、どこの学校でも起こりうることです。いじめが起きたときは、見逃すことなく、できるだけ早く発見して対応しなければなりません。新潟県でも「いじめ見逃しゼロ運動」を展開しています。そのためには、大人も子供もいじめに気づいた時には、傍観者になることなく、声を上げる必要があります。しかし、「うちの子はいじめていない」「私はそばに見ていただけだ」「ふざけていただけだ」といった「シンキングエラー」によって、いじめを正当化したり、いじめをしているという認識をもてなかったりすることがあります。結果として、「わたしの問題」だけが主張され、いじめをなくそうとする「わたしたちの問題」となりにくく、解決に多くの時間やエネルギーを要することになります。「シンキングエラー」とは、「共感性のなさに基づく間違った考え」のことです。近年、この「シンキングエラー」がさまざまな生徒指導事案の要因になっています。

学校は、いじめがわかったときは、全職員が協力して事実関係を把握し、解決と再発防止に向けて指導していきます。学校に相談したのに、あいまいな指導だったために、解決するどころか、かえっていじめがひどくなったという例もあります。いじめに対する正しい理解を求めるとともに「シンキングエラー」に負けずに取り組んでいきます。そのためには、保護者の皆様と認識を共有し、協力していくことが大切だと考えています。

大人でも子供でも人間には誰でも、弱さや醜さがあり、人を妬ましく思ったり、人を攻撃したり、ときにはいじめてやろうという気持ちがわいてきたりするかもしれません。しかし、そういう気持ちをコントロールしながら社会生活を営んでいるのです。誰が、どんなタイミングで、いじめ加害者になるか、被害者になるかわかりません。子供たちは、毎日さまざまなかかわりを通して、人間としてのよりよい生き方や立ち居振る舞いなどを学んでいます。失敗することもありますが、失敗したときは、反省し、学ぶ絶好の機会なのです。今、何が問題なのか、子供たちに何を考えさせ、理解させなければならないのか、ときには本気で親も教師も子供と向き合わなければなりません。この時の大人の態度が、子供のよい反省や学びの場となるか否かとても重要です。

白南中学校は、これまでのところ、いじめの認知件数も少なく、認知した場合は、きちんと解決に向けて取り組んできました。全体としてとても落ち着いた雰囲気で学校生活が行われています。

しかし、今年度に入って、ある学年で多数がかかわるいじめ事案や授業中に Youtube など学習に関係ないサイトを見ているなど、今まで白南中学校では見られなかった生徒の規範意識の低下、意識の変化が見られ、職員は危機感をもって取り組んでいます。

まもなく、夏休みを迎えますが、家庭や地域で過ごす時間が多くなります。有意義な夏休みになりますようご家庭でのご指導をお願いします。

新潟市体育大会の結果

〔陸上競技〕

五十嵐凛音（３）共通男子 3000M　４位県大会へ ※
五十嵐凛音（３）共通男子 1500M 10 位県大会へ ※
河田　美和（３）共通砲丸投　　５位県大会へ
宮北　康生（２）400M　　15 位 ※
関根　真人（１）１年男子砲丸投 ２位
米持　真紀（１）１年男子砲丸投 ７位
※は通信陸上大会出場へ

〔男子ソフトテニス〕

団体
１回戦　対亀田中　　１－２　負け
個人
宮本（3）・小山（3）ペア　　１回戦敗退
相田（3）・加藤（2）ペア　　１回戦敗退
石坂（3）・原田（3）ペア　　１回戦敗退
松下（2）・丸山（2）ペア　　２回戦敗退
和田（3）・小式澤（3）ペア　２回戦敗退
吉澤（3）・田巻（3）ペア　　３回戦敗退

〔女子ソフトテニス〕

団体
１回戦　対松浜中　　２－１勝ち
２回戦　対新津第一中　　０－３負け
個人
川﨑（3）・佐藤（2）ペア　　１回戦敗退
須貝（2）・吉田（2）ペア　　２回戦敗退
戸嶋（2）・田巻（2）ペア　　１回戦敗退
髙井（2）・小林（2）ペア　　１回戦敗退
白野（3）・赤塚（3）ペア　　２回戦敗退
佐藤（3）・鳥羽（3）ペア　　４回戦敗退
(ベスト 32)

〔バレーボール〕

1 回戦　対早通中　２－０　勝ち
2 回戦　対西川中　０－２　負け

〔野　球〕※臼井中との合同チーム

1 回戦　対濁川中・横越中チーム　６－７　負け

〔水　泳〕

針貝　沙良（2）女子 200M 個人メドレー　２位
針貝　沙良（2）女子 200M 自由形　　４位
両種目とも県大会へ

〔ＮＢＣ〕

１回戦　対白根第一　１７－０　勝ち
２回戦　対石山中　　８－０　勝ち
３回戦　対小針中　　０－１　負け

通信陸上大会の結果

全体順位

五十嵐凛音（3）　1500M　決勝 3 組 14 位 49/61
五十嵐凛音（3）　3000M　決勝 2 組　9 位 28/42
宮北　康生（3）　400M　予選 1 組　8 位

地域と学ぶ南区防災教室

６月 22 日（金）13：40 から開催した南区防災教室には、ＮＰＯ法人ふるさと未来創造堂の中野雅嗣様のご指導の下、新飯田、茨曽根、庄瀬３地域の防災士さん 11 名も参加いただき，充実した防災教室になりました。

今回の防災教室では，［洪水災害］を想定し、ハザードマップの読み方や学区の洪水災害の危険性や避難場所を知り、自宅にいるときの危難行動についても考えました。また、災害時の情報収集方法についても学びました。地域の方から 20 名以上参加いただき、生徒とともにタブレットを使って，ハザードマップを確認したり、新潟県防災アプリから災害時の情報の取り方などについて学んでいました。

ふるさと未来創造堂の中野雅嗣さん

巡回してアドバイスする防災士のみなさん

南区防災教室は、行政、NPO、地域防災士会と学校が協働して行っています。特に３地域の防災士のみなさんは、計画立案段階から参画し、終了後の振り返りもとても熱心にされていました。みなさんのおかげで、生徒にとっては豊かな学びとなりました。これもコミュニティ・スクールの成果です。

実際に災害が起きたとき、中学生は災害弱者ではなく、地域の大切な担い手になります。「地域とともにある学校」として大切に育てていきます。